



鈴木 直明

Q：静岡市の大切な地域資源「東海道二峠六宿」と「家康公四百年祭」をどのように関わりを持たせ、結びつけていくのか。

A：「東海道二峠六宿」のエリアを「東海道歴史街道」というひとつのブランドとしてまとめあげていくために「歩いて楽しむ」「地域主体」の2つをキーワードに、「宿場スイーツ試食&東海道ツアー」としてすでに6回のウォークイベントを開催している。「家康公四百年祭」の主要テーマである歴史関連事業の大きな構成要素でもあるため、ハード面では、宿場の歴史や町並みを表す案内板や道標を設置し、ソフト面では東海道や家康公という、歴史・文化のストーリーを身近に感じられるガイドツアーの充実やまち歩きマップの作成を行なっていく。

池邨 善満

Q：小規模な空地进行公園として整備する考えはあるのか



A：小規模な空き地を公園にしてほしいとの要望が数多くだされている。小規模公園は、市民の休憩スポット、街中の景観をつくる小空間として貴重と認識している。そのため、平成26年度改訂静岡市緑の基本計画の中で、公園の整備や管理における地域住民と市の役割・協働を明らかにしながら、小規模な空き地に公園を整備できる新たな制度を検討していきたいと考えている。



栗田 知明

Q：桜ヶ丘総合病院の経営は、本年4月からJCHOに移行すると聞いている。移転新築に関し、市から早急にJCHOに打診する考えはないか。



A：現在、桜ヶ丘病院は現機構（RFO）と事業計画の承認について協議を行っている。また、H26年4月にこのRFOは「独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO）」に組織変更されることがすでに決定しており、移転新築の事業承認については、このJCHOにおいて決定されると聞いている。JCHOとの協議の方向によって、さらに市が関与を進めることが必要と判断される場合には、桜ヶ丘総合病院と連携し、新しい機構への働きかけを行っていく。

徳川家康公顕彰四百年事業
日英交流 400 年 ロンドン視察

平成 25 年 12 月 4 日～ 8 日



手もみ茶の実演

静岡市と静岡商工会議所はH25年12月4日～8日にロンドンを訪れ、新政会からは池邨善満議員が視察に参加した。これは、現地の大学教授や歴史家らで構成する市民団体「JAPAN 400」と連携し、徳川家康公没後400年の顕彰事業のPRや「シティープロモーション」を行うもので、12月5日に在英日本大使館で行われたクリスマスパーティーに参加した。7日にロンドン大学で開催された「日英交流 400 年記念セレモニー」では、手もみ茶の実演や駿河塗下駄作りの作業風景を映像で流すなど、本市のアピールを行った。

ロンドン大学での
プレゼンの様子

新緑会 しんせいかい だより

新政会代表質問

平成26年2月議会において、佐藤成子政調会長が新政会を代表し質問に立ちました。質問では、市長のリーダーシップや経済社会情勢など、13項目について問いたしました。（以下、質問答弁一部抜粋）

質問：市長の政治姿勢と市政運営について
（市長のリーダーシップ、トップセールス、スピード重視の考え方について）

市長：リーダーシップ発揮による3年間の具体的な取り組みとしましては、「県・市連携地域政策会議の設置」や「官民連携地域活性化会議の開催」などがありますが、新しい取り組みとしまして「市内民間企業との若手職員の人事交流」を始めました。H24年度より毎年度3、4名の相互派遣を行っています。又、トップセールスとしましては、韓国・台湾・ロンドンなどへのプロモーションに加え、H26年度より姉妹都市交流の一環として「シェルビービル市への教員長期派遣事業」を実施します。「スピード重視」は、私の市政運営方針の一つであり、早急に対応の必要な事柄に対して、目標と期限を明確にし、決断力を持って取組むというものです。昨年の三保松原世界遺産登録では、急激に増加した観光客受け入れのため、駐車場整備、ガイダンス施設の設置など矢継ぎ早に環境整備を行いました。また、計画から実施までの「進捗の速さ」という意味では、「しずおかエンジェルプロジェクト」が挙げられます。これは、H25年1月の本市若手職員による政策提言ですが、少子化対策に有効であると考え、H26年度の事業化にこぎつけました。

質問：人口減少の中で「交流人口拡大」を掲げることにについて

残念ながら、本市の人口減少は避けられないものです。施政方針で示された「都市活力を低下させないための圏域の人口活力の維持」のため、「連携の深化」と「世界を意識した発想」の2つに取組んでいきます。「連携の深化」とは、周辺の6市2町も含めた広域連合による地域活力向上の取組みと、官民連携をはじめNPO等とのつながる力による取組みにより圏域の人口活力を維持しようというものです。「世界を意識した発想」とは、都市の魅力を高めそれにより交流人口を拡大し、人口活力の維持につなげようという取組みです。



質問：地域活性化本部について
担当する業務をどのように変えてきたのか。
今後どのような方針で決めていくのか。

地域活性化事業推進本部は、地域経済の発展と縦割り行政の弊害解消を図るため、円滑かつ柔軟な体制で取り組める組織を確立することを目的に設置しました。この目的に従って、「シズカン」プロジェクトの推進など、5つの事業を当初の担当業務として決定しました。さらに、徳川家康公四百年記念事業を昨年度途中から担当業務としたところです。一方、「寿司の都・しずおかの推進」事業は、一旦推進本部の担当業務から外すこととしました。今後は、財政状況等の社会情勢や市民意識などに注視しながら、取り扱う事業の妥当性を柔軟に判断し対応していきたいと考えています。

質問：アセットマネジメントの取組みと新設される公共資産経営課の設置目的について

本市では、国に先んじてアセットマネジメント基本方針の策定作業を進めております。アセットマネジメントの対象範囲は、学校や市営住宅などの「公共建築物」と道路などの「インフラ資産」といったすべての公共施設を対象としています。このアセットマネジメントを総合計画と一体となって進めることを目的に、H26年度より企画部内に「公共資産経営課」が新設されます。公共資産経営課の所管事務については、すべての公共施設の維持、更新に関する計画に基づく資産管理の推進に関すること、公共施設の効率的な利活用の計画に関すること、公共施設の廃止に伴う公有地の処分方針に関すること、公共施設を所管している局との総合調整に関することがあげられます。

平成 26 年度当初予算概要

一般会計 2, 7 6 2 億円 (対前年度 98 億円増 +3.7%)

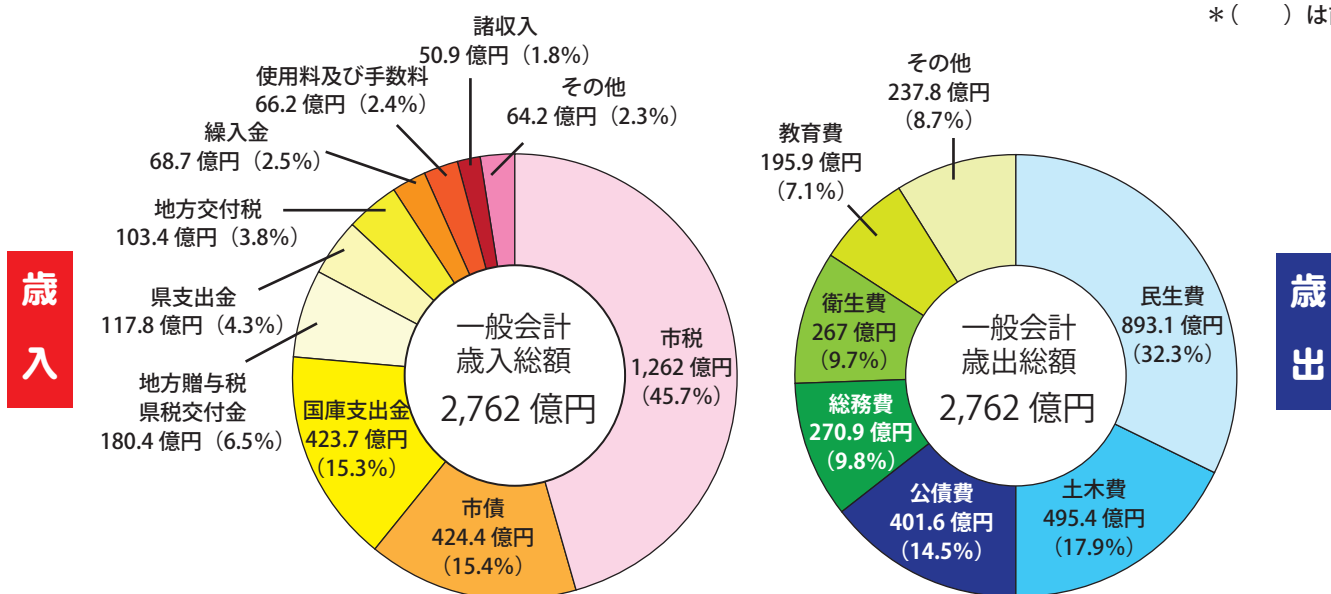
防災・減災の推進や子育て支援策などに!

平成 26 年度一般会計当初予算は 2,762 億円 (対前年度比 3.7%増) で、特別会計・企業会計を合わせた総額は 5,804 億円となりました。厳しい財政状況の中、財政の健全性の確保に留意しつつ、地域経済活性化に不可欠な投資的事業や重点政策の 3 つの柱 (「都市の活力を高める取組み」「安心安全な地域をつくる取組み」「次世代人材を育む取組み」*右頁参照) に沿って予算を重点配分しています。また、国の有利な財政措置を活用しつつ、防災・減災対策を推進するとともに、子育て支援策を積極的に展開する予算となっています。

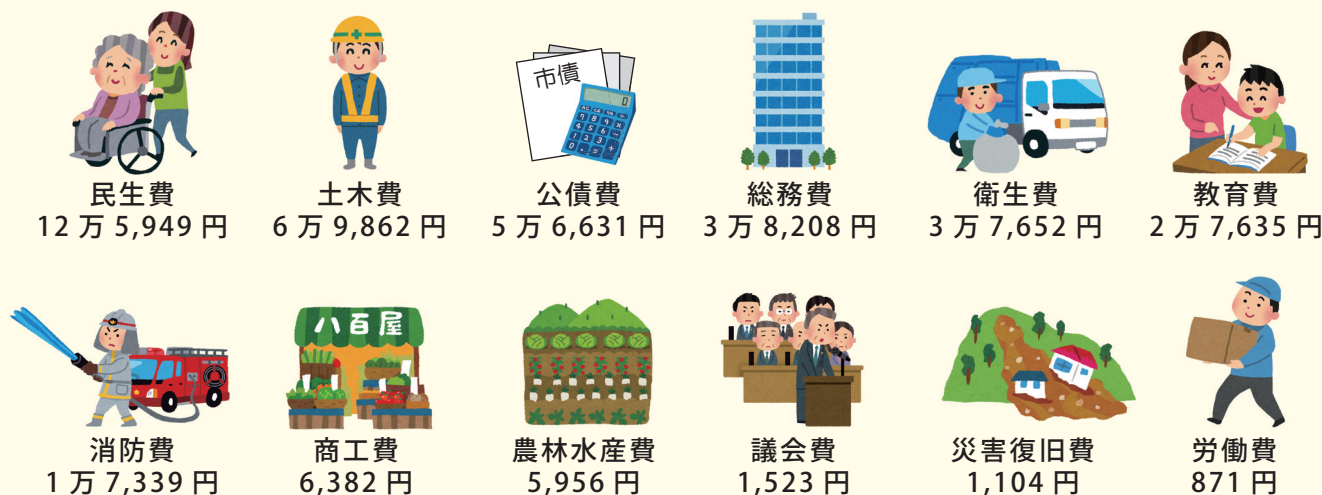


一般会計	2,762 億円 (+3.7%)
特別会計	2,078 億円 (+3.3%)
企業会計	964 億円 (+11.4%)
総予算	5,804 億円 (+4.7%)

* () は前年度比



市民 1 人当たりの予算 38 万 9,482 円はこうに使われます



*一般会計のそれぞれの額を平成 26 年 1 月現在の人口で割りました。

都市の活力を高める取組み

1. 地域経済の活性化・人口活力の維持 … 57.5 億円

- ・発見! しずおか旬の食材プロジェクト (しずまえ鮮魚普及事業ほか)
- ・都市型産業の立地支援制度の創設
- ・南アルプスユネスコエコパークの登録推進
- ・中山間地・オクシズの活性化
- ・東名新インターチェンジの整備
- ・清水都心ウォーターフロント活性化推進

しずまえ鮮魚販売の様子 (由比港浜の市)



2. 三保松原の保全と活用・来訪者対策 … 4.6 億円

- ・三保松原保全活用事業 (松原全体の管理基本計画の策定など)
- ・遊歩道、観光案内看板、標識の整備等
- ・観光バス駐車場用地取得
- ・松くい虫防除、草刈、土壌等調査
- ・羽衣公園、羽衣資料館の整備検討

みほナビ



神の道と御穂神社

3. 徳川家康公顕彰四百年記念事業の推進 … 1.9 億円

- ・徳川家康公顕彰四百年祭オープニングイベント
- ・歴史文化施設さきがけ企画展等の実施
- ・「東海道歴史街道」をテーマとしたまち歩き観光推進事業
- ・(仮称) るるぶ特別編集号「家康公も愛したまち静岡市」の制作活用



まち歩き観光の推進

安心・安全な地域をつくる取組み

1. 巨大地震に対応する防災・減災対策の強化 … 50.1 億円

- ・津波避難施設の整備
- ・災害対策本部の機能強化
- ・緊急輸送路の整備及び確保
- ・自主防災組織等への緊急情報防災ラジオの配備
- ・民間大規模建築物の耐震診断への助成



津波避難施設 (三保ふれあい広場)

2. 消防・救急広域化の推進、消防力の強化 … 43.3 億円

- ・消防本部 (仮称) 石田消防署庁舎等の建設
- ・広域化に向けた消防職員特殊災害研修
- ・消防救急無線デジタル化、消防総合情報システムの整備



(仮称) 石田消防署庁舎完成予想図

3. 地域医療の確保と地域の安心安全の強化 … 62.4 億円

- ・公立病院の機能強化による地域医療の確保
- ・「明るく、目立って、光る高齢者」交通安全の推進
- ・福祉避難所の機能強化
- ・生活困窮者への支援事業の創設



手術用ロボット装置 (静岡病院)

次世代人材を育む取組み

1. 次世代のための支援の充実 … 27.0 億円

- ・早期発育支援のための幼児言語教室の増設
- ・特定不妊治療費助成制度の創設
- ・しずおかエンジェルプロジェクト (静岡型結婚支援事業)



2. 子ども・子育て支援新制度へ向けた取組みと「静岡型」待機児童対策へのパワーアップ … 29.8 億円

- ・養育機児童園の整備
- ・私立認可保育所の整備、小規模保育事業の新設、認可外保育施設の移行支援
- ・私立保育園の認定こども園化の推進
- ・子育て世帯支援体制の強化



3. 学校教育環境の整備 … 16.5 億円

- ・お茶で学ぶ静岡型人材育成事業
- ・学力アップサポート事業の拡充
- ・森下小学校の改築

日本茶インストラクターによる「お茶の入れ方教室」の様子



森下小学校 (現況)